



2021年2月

しょうじゅ

しょうじゅの里 小野

第31号



長い冬もいよいよ終わりに近づきましたが、皆様お変わりありませんか？新型コロナウイルスに伴い、会いたくても会えない、直接言葉をかけたくてもできない日常が続いており、皆様にはご不便をおかけしております。一日も早く皆様にお会いできるよう、祈りつつご健康を心よりお祈り申し上げます。



コロナ禍の“健康経営”とは？ その2

～“ご利用者様ファースト”の健康経営～



施設長 鳥澤

健康経営とは「従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資である」との考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する今話題の経営メソッドです。

前回のコラムでは健康経営についての説明と当施設の取り組みをお伝えしましたが、今回は当施設の具体的な取り組みについてご紹介させていただきます。当施設は健康経営として今後の予定も含め、以下のような取り組みを推進しております。

- ① 週休3日制に取り組んでおり、オンとオフを充実させ、やりがいがあり充実した労働環境を構築。
- ② 敷地内禁煙とし、職員には禁煙を促進。
- ③ 感染症衛生管理委員会等を通じて新型コロナウイルス対策をはじめとする感染症対策を強化し、ご利用者様の健康保持を促進しながら職員の健康管理も増進し、健康経営に関連付ける。
- ④ いつでもどこでも手軽にできるオリジナル体操“生き生き（いきいき）1分ケア体操”他をご入居者様とともに実施。
- ⑤ 健康診断結果のデータ化や健康にまつわるアンケートをとり職員の健康状態を把握し、健康生活を促進（3月予定）。

また、施設運営上しょうじゅの里小野の健康経営で最も大切にしている考え方は、“ご利用者様ファースト”であり、スタッフが健康経営のリテラシーを向上させながら、一緒に健康保持を促進し、ご利用者様の人生を共に彩るケアサービスに努めていくことが大切であると考えております。

健康経営はカラダが資本である医療・介護福祉業界であるからこそ必要性が高く、コロナ禍である今、職員の健康にも視点をおくことが、延いてはご利用者様サービスの向上に還元されると考えております。



施設内での体操風景



リーダー会議にて
理学療法士より研修



暖かい日に日向ぼっこ



消防訓練を行いました。



施設での様子をお伝えしたくケアレターを作っています。郵送で出来上がり次第送ります。

面会中止期間延長のお知らせ

新型コロナウイルスの急速な感染拡大防止のため、東京と埼玉、千葉、神奈川の1都3県には「緊急事態行動」として政府が対策を行う方向で最終調整しているとの報道がありました。これをふまえ、ご入居者様の面会中止期間の延長をさせていただきます。今のところ再開の期日は未定です。

ご入居者様が安心して暮らせる環境を保持するため、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、面会につきましての詳細は、随時ホームページでご案内させていただきます。また、ご入居者様の状況や面会方法についてご不明な点がございましたら、当施設までご連絡いただきますようお願いいたします。



内科 ・ ・ 5日 ・ 10日 ・ 19日 ・ 24日

精神科 ・ 2日 ・ 16日

歯科 ・ ・ 9日 ・ 16日 ・ 23日



空気が乾燥し、インフルエンザを始めとする、この時期に流行しやすい感染症には特に気を付けなければいけない季節となりました。今年には新型コロナウイルス対策もありますので、引き続き、健康管理・安全対策に取り組んでまいりたいと思います。